

大学院修士学位論文題名一覧 — 令和三年度 —

— 仏教学研究科 —

《天台学》

- 岩田 真精 初期日本天台における学生養成制度の展開  
大照 常景 仏教における「現報」思想について  
— 奈良から平安初期を中心に —  
塩入 養 天台大師智顛における懺悔の考察  
— 『方等三昧行法』を中心に —  
村田 純一 天台智顛における方便について

《豊山学》

- 名兒耶優教 真言宗における安心論の展開について  
佐藤 智成 空海の生涯における歴史的事実の研究  
— 出生から入唐に至るまで —  
大西 康熙 両祖大師と『釈摩訶衍論』  
二階堂宥誠 果分可説の研究  
— 『弁顕密二教論』と三部書を中心として —

《智山学》

- 笠原 隆宏 『大疏啓蒙』の研究 — 「一乗経劫」を中心として —  
鈴木 匠 『孔雀経』の研究 — 説話と呪を中心として —  
小峰 一仁 不空三蔵と五台山文殊信仰の研究 — 『表制集』を中心に —

《浄土学》

- 川越 知法 聖光教学の研究 — 仏凡関係を中心に —  
黒澤 崇弘 聖岡上人撰『浄土述聞口決鈔』の研究  
— 業事成弁を中心に —

- 阪本 幸礼 浄影寺慧遠の研究 — 仏身仏土論を中心にして —  
杉浦 靖隆 牛秀上人撰『説法色葉集』の研究  
杉山 春信 法然上人撰『浄土初学抄』の研究  
富田 龍道 念仏論争の研究 — 華嚴学僧・鳳潭を中心として —  
山本 将士 浄土宗寺院の活動 — 寺院の活性化を中心に —

— 人間学研究科 —

《社会福祉学》

- 大堀 直子 精神障害がある人の家族のレジリエンスに関する研究  
— M-GTA を用いた分析を通して —  
霍 家馨 「学生出前定期便」活動の役割とは

《臨床心理学》

- 伊藤聡一朗 対人恐怖心性のポジティブな要素  
井上 有梨 メンタリング関係の類型と支援傾向  
— メンターに関する時系列の語りから —  
岡崎 慶子 対人関係による傷つきへの意味づけの変容過程  
— 自己成長感に着目して —  
加藤 花奈 養育体験が非行傾向に与える影響についての検討  
— Locus of control の形成に注目して —  
兼松 貴之 新型コロナウイルス感染拡大の影響が大学生の生活に及ぼす影響について  
谷川マリ 離婚家庭で飼育される動物が子どもに及ぼす心理的影響  
佐々木あゆみ 移行対象を継続することの意義について  
— ライフイベントに焦点をあてた語りから —  
杉本彩利 恥体験の捉え方  
— パラノイドと怒りとの関連に注目して —  
胎中 麻緒 青年の傷つき体験に対する意味づけとその過程  
— 親に否定された体験に注目して —

日高 斐菜 青年期女子におけるダイエット行動  
—自己意識と友人関係における同調行動の観点から—

細田 羽衣 ひきこもり当事者が語る回復の契機としてのある他者との  
出会い

武藤 哲平 カウンセラー視点での、ビデオカウンセリング内での内的  
体験と、クライアントとの相互作用  
—対面カウンセリングとの比較から—

山田 恵太 犯罪行為に及んだ知的障害・発達障害のある人の心理的支  
援の必要性

吉野 栄作 教師・保護者・友人からのほめられる経験が学習意欲に与  
える影響について

溝口佐江子 生活保護ケースワーカーのストレスに関する検討

松本由紀子 自己嫌悪感体験への意味付けの仕方と自己概念の変化につ  
いて

—— 文学研究科 ——

《宗教学》

柳澤 最一 日光山輪王寺の明治維新について  
—保見会の活動に着目して—

能藤 隆正 現代におけるプラグマティズムの変遷—リチャード・ロー  
ティとジョン・マクダウェルを手掛かりにして—

《史学（日本史）》

堀田 和敬 僧具の研究—比丘十八物を中心に—

田中 栄実 法隆寺献納宝物竜首水瓶の意匠におけるアジア的要素

爲國 翠子 石器石材の流通からみた縄文時代中期の社会組織

杠 宗太郎 戦国期関東足利氏の研究

吉田 大槻 日露戦争後の日本外交  
—明治後期の日米民間経済外交を中心に—

《史学（東洋史）》

小橋 孝明 秦漢時代の婚姻について

近藤 兼続 『漢書』の研究—儒学思想を中心として—

《国文学》

山宮 美萩 戦後の中学校における和歌文学教育の研究

《比較文化》

史 星皓 ディズニーのアニメ・映画にみるジェンダー

小前ひろみ 原田治郎研究—日本画英語解説の独自性—